

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

167

下水道管理課

補助金の名称	水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給		
(規則・要綱名)	西尾市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則		
補助事業の概要 及び交付先	汲み取り便所を水洗便所に改造し、又はし尿浄化槽を廃止するために要する資金の融資あっせん及び融資を行う金融機関への利子補給を行い、下水道等への接続を促進するもの。		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	43,034円	100,000円	70,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	臨時的補助金	利子補給金
交付期間	開始年度	H4	終了年度（予定） H33
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		
	※ 補助対象経費の額		
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定していない

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

167

下水道管理課

補助金の名称 (規則・要綱名)	水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給	
	西尾市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則	
①総合計画施策コード	章による分類	2 社会基盤 利便性と快適性を高める基盤づくり
	項による分類	6 下水道
	施策内容による分類	2 適切な汚水処理の推進
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	平成34年度までに、公共下水道の水洗化率90%を目指します。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	水洗化率（各4月1日現在） H27(74.1%) H28(75.0%) H29(78.4%) H30(81.2%) 目標 H31(83.7%) H32(86.2%) H33(88.2%) H34(90.0%)	
	規の供用開始が減るため水洗化率は上がると思われる。	
⑤補助の恩恵を受ける人（受益者）を記載してください。	下水道が使用できる区域内で接続工事費の一部あるいは全部を一時的に準備できない人	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。		
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	西尾市が資金を貸し出しするのではなく、金融機関と申請者が融資の契約をしていただき、その利息を西尾市が金融機関に支払うもの。利用者は、例えば、接続に50万円かかった場合、月1万円で50回払いできる。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	申請書には、連帯保証人の印鑑証明、申込者と連帯保証人の納税証明、申込者と連帯保証人の所得証明、工事見積書および排水設備平面図の添付を求め、審査している。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成04年04月01日
	改定年月日（最終）	平成29年03月28日

新

補助金見直し基準補足調査票 (第5次実行計画)

167

下水道管理課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	43,034円	18,040円	70,000円	
	補助件数	64件	55件		
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	43,034円	18,040円	70,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の用途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	B	B	B	B	C	B
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		補助金の申請書類の簡素化や類似する制度との統合を検討するなどして使いやすい補助金としていただきたい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
下水道整備計画を縮小したことを考慮すれば、調整区域への不公平感がある。						
申請が進むように申請書類等の軽減をお願いしたい。						
補助金の終期を設定し、定期的な見直しをしていただきたい。						